

基隆築港調査費追加豫算ノ義ニ付上申

基隆築港調査ノ義ニ付本年三月十日臨兪第三二九  
號ヲ以テ参日第八一八號第一及密兪第二二號添豫算  
街下付相成爾來委員編制ヲ始メ諸般ノ準備ヲ整  
次ニ實地ニ就キ調査ニ着手候処之來本島港灣ノ如キハ  
舊政府ハ勿論他ノ諸外國ニ於テモ未タ精密ナル測量ヲ施  
セシコト無之且我海軍ニ於テ港内ノ深淺廣狹等具ニ  
測量セシトモ未タ曾テ氣象觀測波力ノ強弱潮流ノ緩  
急海底地質等ノ實査ニ至テハ一ツモ参考トナル可キモノ  
アラス依テ當委員ニ於テ前述ノ精査ヲ施サンニハ今後少ナ  
クモ二ヶ年間ノ日子ヲ要シテ隨テ之カ費用ヲ要シ即チ說明  
書ニ詳悉スルカ如リ最モ精密ナル調査ヲ為シ極メテ節約ヲ

加フルモ尚金六万千八百四十九拾貳錢ノ不足額ヲ相生候条  
之ヲ亦年度及三十九年度ニ於テ繼續費トシテ下付相成  
候様致度別紙築港調査費追加豫算内譯明細書  
相添此段上申候也

明治廿九年十月

基隆築港調査委員長角田秀松

臺灣總督子爵桂太郎殿

基隆築港調査費追加豫算内譯明細書

基隆築港調査費追加豫算内譯明細書

・ 0277

皇  
清  
書  
本  
庫

0278

基隆築港調查費追加豫算内譯明細書

第一款 臨時軍事費 六一〇、八四、九二〇。

第一項 臨時軍事費 六一〇、八四、九二〇。

第二六目 臺灣縱貫鐵道及築港調查費 六一〇、八四、九二〇

第一節 雇員給 一四、九四〇、〇〇〇。

第二節 囑託員報酬 三七八〇、〇〇〇。

第三節 食料 三八八七、二五〇。

第四節 雜品費 三五二三七〇。

第五節 郵便電信費 八〇〇、〇〇〇。

第六節 運送費 八七二、〇〇〇。

第七節 旅費 七、五五〇、〇〇〇。

第八節 傭給 八、五九二、五〇〇。

一、五、九二、五〇〇

第九節 雜件

一七、一五〇、〇〇〇

臺灣總督府

說明

基隆築港ノ事タル素ヨリ一大事業ニ屬スルヲ以テ之カ調査ヲ為スニ當リ飽マテ綿密ノ注意ヲ以テ從事セサル可カラサルハ言ヲ俟タザルナリ故ニ今回當委員ニ於テ之カ調査者手スルヤ各委員即チ技師及海陸軍將校等ヲシテ屢々實地ニ就キ精密ニ調査セシメ其意見ヲ集メテ之ヲ委員會ノ審查ニ附セリ其議決ノ結果ニ依レハ今後高橋諸般ノ試験ヲ施シ極メテ精密ノ調査ヲ經ルニ非サレハ完全築港ノ方案ヲ確定スルコト能ハス而シテ其試験ヲ要スルモノ頗ル多ク隨テ費用ト日子トヲ要スルコト亦尠カラズ第一海底試験掘地質石質ノ調査第二潮流試験第三波力試験第四風力試験第五雨量試驗第六人造石ノ製造及同沈下試験第七量水標ノ設置及量水方其他總テ

氣象觀測等ヲ最モ其重ナルモノトス以上各種ノ試験ヲ實施シ以テ  
完全ナル調査ヲ遂ケントスルニハ少ナリモニケ年間ノ日子ヲ要シ隨テ技術  
者及事務員ノ増員ヲ要スルヲ以テ俸給額ニ於テ少ナカラサル金額ヲ  
要シ其他旅費及各種試験ニ要スル諸機械諸材料ノ購入人夫賃傭  
船賃其他諸雜費モ亦隨テ多額ニ上ルハ實際止ムヲ得サル所ナリ抑基  
隆築港調査費豫算ハ戰時多端ノ際ニ於テ臨時軍事費中ヨリ  
參方貳千七百拾參圓貳拾八錢ヲ下附セラレ之ヲ本年度ニ移サシタルモ  
ノミニテ今實地調査ニ着手シタル結果ニ依レハ前述ノ如ク諸般ノ試験  
ヲ要スルモノ頗ル多キヲ以テ綿密ニ之カ費用ヲ精査スレハ實際ニ九万參  
千七百九拾八圓貳拾錢ノ多額ニ達セリ此内已ニ定ノラレタル豫算額  
參万貳千七百拾參圓貳拾八錢ヲ扣除シ六万千八百四拾貳錢ノ  
不足ヲ生セリ内九千九百貳拾圓ハ本年度ニ於テ五千六百六拾四圓  
九拾貳錢ハ三十四年度ニ於テ繼續費トシテ下附セラレンコトヲ西女ス

臺灣總督府

0282



雇負給

一金壹万四千九百四拾圓

内譯

種類	人員	員月	額	十八ヶ月ノ額	摘要
雇員	二。		八三〇〇〇	一四、九四〇	月俸百圓ノ者ニ在リ格 五圓ノ者十八名

備考

雇員貳拾名、内貳名ハ技術者他ハ技術助手及事務員ト  
ス委員中已ニ他廳ヨリ兼務ノ技術師及本務アル者ニシテ囑託  
ノ技術アリトモ常ニ専ラ築港ノ調査ニ從事セシムル能ハルヲ  
以テ更ニ専務ノ技術者二名ヲ置キ諸機械ノ運轉使用等ヲ  
擔任セシムルノ必要アリ他ノ十八名ハ技術助手若クハ委員ニ於  
ケル百般ノ事務ヲ取扱ハシムルノ必要アリ

嘱託員報酬

一金參千七百八拾圓

内譯

種類	人員	月額	十八ヶ月ノ額	摘要
技師	二	一四〇〇〇	二五二〇〇	報酬月額一人七拾圓
事務員	一	七〇〇〇〇	一、二六〇〇〇	同上
計	三	二一〇〇〇〇	三七八〇〇〇	

備考

技師二名ハ筑港ニ関シ經驗アル者ニシテ今現ニ嘱託員タリ  
 査結了マテ引續キ嘱託ヲ要ス

事務員ハ會計並庶務一切ノ事ヲ掌キラシムル為テ老練ノ者ヲ  
 要ス今現ニ嘱託員タル一名ヲ引續キ嘱託員ト為スノ必要  
 アリ

食料

一金參千八百八拾七圓貳拾五錢

内譯

種 類 延 人 員 十八ヶ月ノ額 掃 要

雇 員 一〇、九五〇 二七三七五。〇一人日額貳拾五錢

備 人 七、六六五 一、一四九七五。〇一人日額拾五錢

計 一八、六一五 三八八七二五。

雜品

一金參千五百拾參圓拾七錢

内譯

種 類 員 數 單 價 小 計

白半紙	白半葉界紙	半紙金葉界紙	同半葉界紙	美濃金葉紙	真筆	赤	黒	真鑰玉	真鑰玉	波力計	換潮器	試籙
七	百六	百八	百四	百	五	参	参	拾	拾	六	壹	壹
百	拾	拾	拾	帖	本	籠	籠	個	個	個	個	個
二〇	三六	四五	一〇〇	二〇〇	三五	一三五〇	一二〇〇	五〇〇〇	五〇〇〇	七五〇〇〇	一一五〇二五〇	六一〇七五〇
一四	三七	一二	一四	二〇	一七	三七	三六	一五	五〇	四五〇〇〇	一一五〇二五〇	六一〇七五〇
〇〇〇	七八〇	六〇〇	〇〇〇	〇〇〇	五〇〇	七五〇	六〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	七五〇

量 米 新 米 庫 庫

西	内	五	帖	四	一〇〇	三	五〇〇
美濃	白紙	百	五拾	帖	一三三	一	八四五〇
薄美濃	五拾枚	続	四拾	卷	一一〇〇	四	四〇〇〇
普通	碇水引	美濃	貳千	枚	〇〇三	六	〇〇〇
美濃	表紙	百	枚	枚	〇二五	二	五〇〇
半紙	表紙	百	枚	枚	〇一七	一	七〇〇
大状	袋	五	百	枚	〇〇三	一	五〇〇
二重状	袋	千	枚	枚	〇〇二	二	〇〇〇
舶来	大形	漉込	入	貳百	〇〇八	一	六〇〇
水	筆	六	百	本	〇五五	三	三〇〇〇
麻	糸	参	拾	把	〇五〇	一	五〇〇
ペン	先	八	拾	打	一五〇〇	一	二〇〇〇
製	図	用	紙	参	三三三三三三	一	〇〇〇〇

中 砥 石 貳	カ ミ ソ リ 貳	西 洋 砥 石 貳	字 消 ガ ム 大 八 拾	蓆 貳 拾 四 本	石 油 參 拾 六 罐	炭 五 千 斤 百 斤	町 貳 拾 丁	墨 百 丁	西 洋 蠟 燭 五 箱	和 蠟 燭 千 挺	摺 付 木 百 打	関 引 用 ペ ン 先 五 打
七〇〇	六〇〇	八五〇〇	五〇〇	〇五〇	一五〇〇	一六〇〇	一〇〇〇	一八〇	四五〇	二〇〇	二七	四二二〇
一四〇〇	一二〇〇	一七〇〇〇	四〇〇〇	一二〇〇	五四〇〇	八〇〇〇	二〇〇〇	一八〇〇	二二五〇	一〇〇〇〇	二七〇〇	田六〇〇

田六〇〇

0288

中判西洋紙	石	大判	吸取紙	白	繪真八色	繪ノ具	セーム皮	海綿	捲筆	クマ筆	紙ヤスリ	晒木綿
参拾帖	礮参拾何	四リーム	百枚	墨貳箱	拾通	五拾何	参枚	拾何	百本	五拾本	五拾枚	拾及
〇七〇	〇四〇	三〇〇〇	〇六〇	一三〇	四〇〇〇	五〇〇	八〇〇	五〇〇	一六〇	一五〇	〇五〇	山六〇〇
二一〇〇	一二〇〇	一三〇〇〇	六〇〇〇	二四〇	四〇〇〇〇	二七五〇	二四〇〇	五〇〇〇	一六〇〇〇	七五〇〇	二五〇〇	山六〇〇〇

書  
等  
類  
分  
府

滿	礪	白	種	ヲ ン ア	鑛	ト レ シ ン ク ク ロ ス	鐵 葉 入 繪 臭 皂	鳥 毛 采 配	羽	羊	司	鉛
儼	砂	絞 油	油	心	油	志	皂	配	筵	切	六	筆
拾	拾	貳	貳	<sup>大</sup> 百 ハ	志	五	六	六	五	貳	六	五
五	五			拾						百		拾
斤	斤	樽	樽	本	石	卷	何	本	本	本	打	打
		三〇〇〇〇	二〇〇〇〇	一〇〇〇	二五〇〇〇	一三〇〇〇	三〇〇〇	二五〇〇	一八〇〇	一〇〇〇	二〇〇〇〇	田 一 五〇〇
一五〇	五〇〇											
		六〇〇〇〇	四〇〇〇〇	一八〇〇〇	二五〇〇〇	六五〇〇〇	三〇〇〇	一五〇〇	九〇〇	二〇〇〇〇	一二〇〇〇	三 四 〇〇〇〇
二二五〇	七五〇〇											

0290



炭素棒	拾五斤	三〇〇	四五〇
亜鉛棒	拾斤	一五〇	四五〇

備考

器具機械ニ属スルモノハ海底試掘潮流試験波力並風力試験等ニ必要欠ク可カラサルモノニ付購入ヲ要シ消耗品ニ属スルモノハ事務所及量水番舎其他諸機械運轉並諸試験用トシテ本表ノ通要スルノ見込

郵便電信費

一金八百圓

内外國郵便電信料

運送費

0291

一金八百七拾貳圓

東京及橫濱ニ於テ購入ス可キ諸器具諸機械ニ對ス  
ル荷作料保險料及汽車汽船運賃

旅費

一金七百五拾五圓

内

金五千九百八拾六圓

高等官二名雇負四名傭人二名基隆出張三百六拾五

日分滞在日當

金參百七拾參圓九拾貳錢

同上人員各十二回臺北基隆間往復旅費

金千百九拾圓八錢

0292

高等官三名各二回東京ヨリ臺灣出張旅費一回ニ付  
滞在日數三十日ヲ見込ム

### 備考

委員長以下各委員ハ皆臺灣總督府軍務局陸海  
軍部員若クハ民政局員ナルヲ以テ事務所ハ常ニ臺北ニ  
置キ實地施業ノ為ニハ交互基隆ニ出張セシメサル可  
カラス故ニ高等官二人雇員四人傭人二人常ニ出張滞  
在スルモノト見做シ算出ス

在東京ノ囑託技師二人ハ各々本務アルカ為メ永ク臺灣  
ニ留マル能ハス故ニ少ナクモ各二回出張セシムルヲ要ス

### 備給

一金八百九十拾貳圓五十拾錢

内譯

種	類	延人	負日	給	額小	計	摘	要
圖工		三六五		五〇	一八二五〇	一日平均一人三百六十五日間使用、見込		
給仕小使類		五二一〇		五〇	二五五〇〇〇	一日平均十四人前日断		
日本人夫		二〇〇〇		一〇〇〇	二〇〇〇〇〇	一日平均八人前日断		
支那人夫		五〇〇		三五〇	一七五〇〇〇	一日平均二人前日断		
日本工夫		一七五〇		一二〇〇	二二〇〇〇〇〇	一日平均七人前日断		
潜水夫		二四〇		二五〇	六〇〇〇〇〇	一日四人、夜六日間使用、見込		
生綱曳		二四〇		二〇〇	四八〇〇〇〇	前日断		
日本船頭		五〇〇		一〇〇〇	五〇〇〇〇〇	一日平均五人、二百五十日間使用、見込		

備考

圖工及給仕小使ハ事務所及量水番舎ニ之ヲ用ヒ日本人夫支那人夫ハ諸般ノ試験事業ニ用ヒ日本工夫ハ専ラ人造

石製造用ニ潜水夫生綱曳ハ潜水業ニ用ヒ日本船頭ハ専ラ潜水業ニ用ヒ尚ホ其他ノ場合ニモ兼用ス

雜件

一金壹万七千五百拾四

内譯

種	類	員	数	單	價	小	計	括	要
支那端	船	千五百隻	四	八〇〇	一二〇〇〇〇				一日平均六隻二百五十日間 使用ノ見込
端	船	貳百隻	一	二五〇	二二〇〇〇〇				一日平均四隻五十日間使用ノ 見込
小	蒸汽船	三十隻		二〇〇〇	三〇〇〇〇〇				一日一隻三十日間使用ノ 見込
三十一	三十一	用材	鉄	三		三〇〇〇〇			人造石製造用
三十一	三十一	用材	木	四		三〇〇〇〇			
十二	十二	用材	木	四		一三〇〇〇〇			全
十二	十二	用材	木	五		一八〇〇〇			全

日本船買上	量水標	量水標水位比較測	砂	砂	セメント	平夕船	修繕費	トシ秤	トシ秤	トシ秤	トシ秤	心	中仕切
壹	三	三	六	六	千	百	三	五	五	三	三	壹	五
艘	本	所	坪	坪	樽	艘	所	分	分	分	分	本	本
二〇〇〇〇	一五〇〇〇	二〇〇〇〇	二〇〇〇〇	二〇〇〇〇	七〇〇〇	八〇〇〇	二〇〇〇〇	四〇〇〇〇	七〇〇〇〇	八〇〇〇〇	五〇〇〇〇	五〇〇〇〇	二〇〇〇〇
二〇〇〇〇	四五〇〇〇	六〇〇〇〇	七〇〇〇〇	一、二〇〇〇〇	七、〇〇〇〇〇	八、〇〇〇〇	六、〇〇〇〇	二〇〇〇〇	三、五〇〇〇	二、四〇〇〇	五、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
			全	全	人造石製造用	一月平均二隻五日間使用	量水番舎修繕	全	全	全	全	全	全

洋 紙 料 片

ダイナモーター  
据付費

五〇〇〇〇

五〇〇〇〇

備考

支那端船ハ海底試験、潮流試験量水番舎用及ヒ  
隨時巡視ノ為メ之ヲ要シ端船及小蒸氣船ハ專ラ潮  
流試験用ニ之ヲ用ヒ平夕船ハ海底試験ニ用ヒ日本船買  
上六潜水用ニ供スルカ為メナリ

海軍省  
海軍省  
海軍省  
海軍省

0297

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

高  
 濃  
 冬  
 木  
 月

0298





0299